

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果

参考値

(データ集約 : 8/5)

採取場所	1号機原子炉建屋 原子炉ウェル上部 南側 (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋 原子炉ウェル上部 南側 (チャコールフィルタ)		1号機原子炉建屋 機器ハッチオペフロ階 (粒子状フィルタ)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
試料採取日時	2015年7月30日 12時35分～13時05分		2015年7月30日 12時35分～13時05分		2015年7月30日 10時16分～11時06分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	1.8E-06	0.00	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	4.8E-06	0.00	ND	-	ND	-	3E-03

- ※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。
 その他の核種については評価中。
- ※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
- ※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。
 検出限界値は次の通り。
 揮発性のI-131が約7E-7Bq/cm³、Cs-134が約2E-6Bq/cm³、Cs-137が約3E-6Bq/cm³。
 粒子状のI-131が約5E-7Bq/cm³、Cs-134が約7E-7Bq/cm³、Cs-137が約1E-6Bq/cm³。
 ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。